

## 令和2年度愛媛県教育文化賞受賞者について

[愛媛県教育文化賞とは]

愛媛県教育文化賞は、教育、科学、芸術等について、本県文化の向上発展に、特に功績著しい個人又は団体について顕彰するものです。昭和27年以来、本年度を含めたこれまでの受賞者は、個人192名及び団体2団体となっています。

令和2年度愛媛県教育文化賞の表彰式が、令和2年11月3日文化の日に愛媛県庁正庁で行われ、本県の教育文化の向上発展に、特に功績著しい次の3名が受賞されました。

ふりがな 氏名 (在住市町村) 年齢	功績概要	主要経歴
ふたがみ しげあき 二神 薫明  (松山市) 84歳	<p>(体育振興)</p> <p>昭和43年以来、長きにわたり愛媛県サッカー協会の役員として、サッカー競技の普及・発展に寄与されました。</p> <p>特に、昭和52年に愛媛県サッカーリーグを創設するとともに、東・中・南予リーグを設立し、本県サッカー競技の活性化・競技人口の拡大に寄与された功績は高く評価されています。</p> <p>また、日独スポーツ同時交流事業や日韓スポーツ交流事業等、スポーツによる国際交流に尽力するとともに、天皇杯や国際大会等を積極的に誘致するなど、本県サッカー競技全体の底上げに努められました。</p> <p>さらに、(株)愛媛フットボールクラブ取締役、(株)愛媛FC取締役として、愛媛FCのJリーグ昇格に尽力し、本県のスポーツ振興に多大な貢献をされました。</p>	<p>(現)(一社)愛媛県サッカー協会顧問</p> <p>(元)愛媛県サッカー協会副会長</p> <p>(元)愛媛県サッカー協会常任理事</p> <p>(元)愛媛県サッカー協会理事</p> <p>(元)(株)愛媛FC取締役</p> <p>(元)(株)愛媛フットボールクラブ取締役</p>
よねだ たかひろ 米田 孝弘  (伊予郡砥部町) 79歳	<p>(学校教育・教育行政)</p> <p>昭和39年、公立中学校教諭に奉職され、専門的で質の高い教科指導や地域に根ざした人権・同和教育の充実に尽力されました。</p> <p>特に、平成6年以降、公立小学校長及び愛媛県教育委員会同和教育課長を務められ、円滑な学校経営及び同和教育行政の推進に熱心に取り組まれるとともに、県下の被差別部落を訪れ、被差別部落出身者の立場に立って地道に活動された功績は高く評価されています。</p> <p>また、退職後は、愛媛県人権教育協議会事務局長、代表幹事、会長代行及び全国人権教育研究協議会副理事長を歴任され、県下のみならず、全国的な人権尊重の社会づくりに多大な貢献をされました。</p>	<p>(現)愛媛県人権教育協議会会長代行</p> <p>(元)(公社)全国人権教育研究協議会副理事長</p> <p>(元)愛媛県教育委員会同和教育課長</p> <p>(元)松山市立湯築小学校長</p>
あきやま かずお 秋山 一夫  (西条市) 79歳	<p>(芸術文化)</p> <p>昭和45年に愛媛県美術会の会員に推挙されて以来、長きにわたり役員を歴任されるなど、本県美術の向上発展に寄与されました。</p> <p>特に、愛媛県美術会会長在任中は、美術会の組織改革、運営方法の改善、財政健全化施策の推進並びに県展の改革・活性化に注力されました。</p> <p>なかでも第65回記念秋季県展では、県展史上初めて愛媛県美術館本館の全展示室を使用して開催し、県民に作品発表及び美術鑑賞の機会を広く提供された功績は高く評価されています。</p> <p>さらに、愛媛県美術館協議会副会長、愛媛県文化協会副会長などの要職を歴任され、本県芸術文化の振興に多大な貢献をされました。</p>	<p>(現)愛媛県美術会名誉会員</p> <p>(現)愛媛県美術品等収集評価委員会委員</p> <p>(元)愛媛県美術会会長</p> <p>(元)愛媛県美術会常任評議員</p> <p>(元)愛媛県美術会評議員</p> <p>(元)愛媛県文化協会副会長</p> <p>(元)愛媛県美術館協議会副会長</p>